



青森県はDXでもっと面白くなる

青森DX

第5回 「(仮称)青森県DX推進プラン」 策定委員会

令和6年3月14日(木)16:00~17:30

県庁西棟8階中会議室

次第

1. 開会

2. 議事

(1)青森県DX推進プランについて

(2)令和6年度DX関連事業ロードマップ(案)について

(3)「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会の改組について

(4)令和6年度に実施予定の普及啓発について

3. 閉会

出席者

【委員】

氏名	役職	備考
池田 右文	株式会社池田介護研究所代表	オンライン
石井 重成	青森大学 社会学部准教授	
石澤 諒	あおもり創生パートナーズ経営サポート部	欠席
加藤 夢人	株式会社寅福プラント代表取締役	
佐藤 志穂	株式会社LX DESIGN社長室 CYO	
立花 拓也	株式会社ヘプタゴン代表取締役	
舘田 あゆみ	東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター 特任教授	
本田 政邦	NPO法人青森IT活用サポートセンター(AOIT)理事長	
森 樹男	弘前大学副理事(社会連携担当)人文社会学部 教授	
森本 登志男	キャリアシフト株式会社代表取締役	オンライン
山内 和彦	株式会社スプラウトジャパン代表取締役社長	オンライン
蕨 加奈子	合同会社浜と山と代表	オンライン

(1)青森県DX推進プランについて

【策定経過】

時期	内容
R5.3.7	「青森県DX推進方向」策定・公表
R5.5.10	第1回「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会 (本プランでのめざす姿について意見交換)
R5.5.22	DX推進本部幹事会(準備会)
R5.6.2	DX推進本部設置・第1回本部会議 (プランの策定及び推進について)
R5.6.7	第2回「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会 (本プランでのめざす姿、推進方法について意見交換)
R5.6月中旬	骨子案に対する庁内各部局への意見照会
R5.7.26	第3回「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会 (素案について意見交換)
R5.8月上旬	素案に対する庁内各部局への意見照会
R5.9.20	第2回DX推進本部幹事会 ※書面開催(素案決定)
R5.9~10月	素案のパブリックコメント実施、市町村への意見照会
R5.11.22	第4回「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会 (原案(成果指標等)についての意見交換)
R6.2.22	第3回DX推進本部幹事会(原案決定)
R6.2.29	第2回青森県DX推進本部会議(策定・公表)



【県ホームページ】



【青森県知事の新時代ちゃんねる A-Tube】

青森県 DX推進プラン



青森県 DX推進プラン 概要



青森県はDXで もっとおもしろくなる

新たなしごとや働き方で、産業を未来へ紡ぐ。
人と人がつながり、豊かさと安心を築く。
日々**わくわく**する青森県を目指し、県民とともにDXを推進します。

位置付け

- あらゆる分野においてDXを推進するための官民全体で共有すべき指針
- 「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」及び「青森県行財政改革大綱」に基づき、各分野におけるDX関連施策の取組を加速化させるための個別計画(アクションプラン)
- 「官民データ活用推進基本法」に基づく「都道府県データ活用推進計画」

期間

- 2024(令和6)年度から2028(令和10)年度の5年間

重点的に取り組む3つのDX



2040年の青森県の姿



デジタルで
変革する



試行錯誤を繰り返し
果敢に**挑戦**

産業・しごと分野



- 新たなビジネスモデルや本県ならではの事業の創出
- 生産性の向上や付加価値の創出、多様な働き方の実現

暮らし・まち分野



- 自分に合った生活サービスやつながり、必要な情報が取得でき、安心・安全に生活できる社会
- 距離・時間などの制約がなく自分らしく活躍できる社会

行政経営分野



- 地域全体のDXの推進をけん引する意識
- 県民生活の利便性向上、政策分野への人的資源の集中投資



各分野を支える基盤整備

—— 逆転の発想 ——

青森県はDXでもっとおもしろくなる。

いや、そんなことは絶対にない。

やる気を起こすなんてできっこない。

それでも誰かが言うだろう。

失敗したらやり直し、未来を切り開け。

こどもたちに託せる明日のために。

今こそ挑戦のときだ。

そうだとしても、

絶望感が覆い尽くす。

仕事もないし、結婚もできない。

大人たちはみんな諦めている。

青森県だから仕方がない。

1行ずつ上から読んだ後に、下から上まで1行ずつ読んでください。
逆転の発想で、私たちはDXを推進します。



07 成果指標

基本目標

本プランにおける2040年のめざす姿の実現に向けて、次の4つの項目について2028年までの数値目標を設定し、進捗管理をしていくことにします。

▶ **労働生産性**
(就業者1人当たり県内総生産)



〈青森県民経済計算(県)〉

▶ **インターネットの普及やデジタル化などにより、暮らしの利便性などが向上**



〈青森県民の意識に関する調査〉

▶ **DXに取り組む又は検討している中小企業者**



〈県企画政策部調べ〉

▶ **DXに取り組む又は取組を予定している市町村**



〈県企画政策部調べ〉

重要業績評価指標(KPI)

基本目標を達成するために、取組の達成状況を表す指標として次のKPIを設定し、取組の進捗状況を踏まえた上で検証及び改善を図っていきます。なお、KPIの下に複数の中間指標を設定し、それらを組み合わせ、指数化した上で進捗状況・達成状況を評価します。

産業・しごと分野

- DX 県内企業のDXの推進状況
- DX あらゆる産業分野のDXの推進状況
- DX 多様な働き方の実現状況

暮らし・まち分野

- DX こども・学校教育のDXの推進状況
- DX 安全・安心な社会の実現状況

行政経営分野

- DX DXによる住民サービス向上の達成状況
- DX 業務の効率化に向けたDXの推進状況
- DX デジタル人財の育成状況

DXプランの成果指標の設定について

◆用語説明

基本目標	2040年のめざす姿の実現に向けて、本プランがめざす最終目標
重要業績評価指標(KPI)	基本目標を達成するために、各分野の取組の達成状況を評価する指標
中間指標	取組の進捗を把握するための指標

◆重要業績評価指標(KPI)の算出について

- KPIの下に複数の中間指標を設定し、それらを組み合わせ、目標値が100となるよう指数化した上で、進捗状況・達成状況を評価する。
- 毎年度の成果指標の達成状況は、DX推進委員会において評価・助言等をいただきながら取りまとめる。
(令和6年度第1回DX推進委員会では、現状を指数化したものを示す予定)

◆中間指標について

- 次年度以降の施策・取組の参考とするため、多くの中間指標(直接的なアウトプット・アウトカムに加え、間接的に関連のある指標も採用)を設定し、各指標の推移を捕捉して様々な角度からDXの推進状況を把握する。
- 中間指標は、主に各統計調査や通常の業務で捕捉できるものを設定する。(推計や一部聞き取りの数値も含む)
- 今後の状況変化や新たな施策を踏まえて、随時見直しを行い、追加等をしていく。
- 目標値を設定しない中間指標については、参考値扱いとする想定。
- 中間指標については、DX推進委員会で意見・助言等をいただきながら、令和6年度中に精査する。

KPI及び中間指標に関する補足資料

分野	KPI	中間指標の例
産業・しごと	県内企業のDXの推進状況	<ul style="list-style-type: none"> DXコーディネーターの伴走支援によりDX戦略の策定に取り組んでいる企業数 県内企業のデジタル化・DX支援件数 など
	あらゆる産業分野のDXの推進状況	<ul style="list-style-type: none"> (農業)稲作の10a 当たりの労働時間削減率 (観光業)「青森ファンコミュニティ」参画DMO 数など
	多様な働き方の実現状況	<ul style="list-style-type: none"> ICTサポーター育成数 など
暮らし・まち	こども・学校教育のDXの推進状況	<ul style="list-style-type: none"> 教員が授業にICTを活用して指導する能力 統合型校務支援システムの整備率 など
	安全・安心な社会の実現状況	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔医療に係る施設基準の届出を行っている医療機関数 デジタル技術やデータを活用した利便性の向上等に取り組む交通事業者数 橋梁定期点検AI活用率 など
行政経営	DXによる住民サービス向上の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> オンライン手続き利用率 書かない窓口の導入及び導入に向けて検討している市町村数 など
	業務の効率化に向けたDXの推進状況	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙削減率 情報セキュリティ研修の受講率 など
	デジタル人財の育成状況	<ul style="list-style-type: none"> DX推進員の育成数 など

※中間指標は、今後の状況変化や新たな施策を踏まえて、随時見直しを行い、追加等をしていく。

(2)令和6年度DX関連事業ロードマップ(案)について

産業・しごと分野 (28事業)

項目	事業名
サービス業・ 商工業	1 食品事業者等デジタルマーケティング活用販路拡大支援事業
	2 中小企業等グリーントランスフォーメーション(GX)推進事業
	3 デジタルトランスフォーメーション推進事業(総合的支援体制)
	4 デジタルトランスフォーメーション推進事業(人財育成・確保)
	5 協働ロボットを活用した三八地域ものづくり企業支援事業
	6 大型野生獣管理対策推進事業
	7 あおもり「農業DX」推進事業
	8 物価高騰対応「スマート農業機械」導入促進事業
	9 環境負荷低減による持続可能な農業実践拡大事業
農林水産業	10 鳥獣被害防止対策実施体制強化事業
	11 衛星ナビ高品質米安定生産事業
	12 大豆安定生産技術向上支援事業
	13 青森りんご先端技術導入事業
	14 マーケット対応型和牛生産対策事業
	15 林業・木材産業デジタルシフト推進事業
	16 農業農村整備DX推進事業
	17 陸奥湾海況自動観測システム更新整備事業
	18 三八地域肉用子牛生産推進事業
	19 稼げる「西北型水田農業」定着加速化事業
	20 「西北のハンデ克服」リモート技術を活用した肉用牛生産推進事業
	21 躍進しもきた新規就農者所得アップ支援事業
	22 下北の持続的水田農業構築事業
観光業	23 まるごとあおもりクロスメディア展開事業
	24 DXによる青森ファン関係強化推進事業
	25 古津軽ブランド魅力向上事業
働き方	26 成長産業対応型誘致促進事業
	27 仕事と家庭のジェンダーギャップ解消事業
	28 西北地域の未来をつくるデジタル人財育成事業

暮らし・まち分野 (27事業)

項目	事業名
医療・福祉	29 ヘキ地オンライン診療支援対策事業
	30 オンライン診療設備整備費
	31 公衆衛生DX推進事業
	32 ICTを活用した高齢者の見守り体制構築事業
	33 つくる・つながる・つどいの場活性化事業
	34 介護テクノロジー導入支援事業
	35 モバイルICTによる救急医療情報共有体制整備事業
	36 ヘキ地等地域医療支援対策事業
	37 障害福祉施設等介護ロボット導入支援事業
	38 PHRを活用した次世代型地域医療連携システム整備事業
子育て	39 児童養護施設等ICT化推進事業
	40 認可外保育施設ICT化推進等事業
学校教育	41 校務のICT活用推進事業(統合型校務支援システム運用事業)
	42 学校DXスタートアップ事業
	43 高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業
	44 特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業
	45 公立学校における教育改革支援事業
交通	46 地域交通AX推進事業
安全・安心	47 サイバー事案に対する県民の対処能力向上事業
	48 青少年のネットセーフティ加速化事業
	49 デジタルデバйд対策事業
防災・危機管理	50 特定家畜伝染病防疫システム構築事業
	51 人口減少時代の危機管理体制構築事業
インフラ	52 あおもりICT施工実践推進事業
	53 スマートAomoriコンストラクション推進事業
	54 道路施設適正管理推進事業(道路舗装点検・管理業務のDX構築)
その他	55 暮らし・まちのDX創出基盤構築事業

行政経営分野 (21事業)

項目	事業名
利便性の向上	56 電子入札・電子収納導入調査事業
	57 ウェブ広報発信力向上事業
質の高い自治体運営	58 内部管理業務DX推進事業
	59 市町村DX加速化推進事業(市町村課分)
	60 県有財産管理業務デジタル化推進事業
	61 営繕業務デジタル化推進事業
	62 自治体DX推進事業
	63 政策形成データイノベーション推進事業
	64 統計情報利活用推進事業
	65 立入検査デジタル化事業
	66 生活保護システム標準化移行事業
	67 児童扶養手当システム標準化・共通化関連システム改修
	68 市町村DX加速化推進事業費(選挙管理委員会事務局分)
	69 公文書のデジタル化推進事業
	70 警察業務のデジタル化
利便性の高い自治体運営	71 県庁版BPR加速化事業
	72 県庁スマートワーク推進事業
	73 税務DX関連事業
セキュリティ	74 財務会計システムDX推進事業
	75 情報セキュリティ対策推進事業

(参考事業)

項目	事業名
76	議会事務のICT化推進事業

(3)「(仮称)青森県DX推進プラン」策定委員会の改組について

- 本委員会を「青森県DX推進プラン」の進捗管理への意見及び本県のDXに関する取組への助言等を行う外部有識者会議「青森県DX推進有識者会議」に改組(R6.4.1付け)。
- 有識者会議における意見等は、プランの進捗管理に活用するとともに、県のDX推進に係る事業の企画立案等に反映する。
- 年2回程度開催する予定
 - 〔 6月…成果指標の評価・前年度下期のロードマップ進捗確認、翌年度事業の企画立案への助言
12月…当該年度上期のロードマップ進捗管理、本県におけるDXの推進に係る意見交換等 〕
- 第1回会議は、令和6年6月に開催予定

(4) 令和6年度に実施予定の普及啓発について

- プラン初年度にあたり、これまでの県・市町村や民間企業等の取組の成果を県内に伝えるとともに、あらゆる分野のDXの推進を加速させるため、普及啓発及び情報発信等を実施し、DX推進へ向けた県民の機運醸成を図る。
- 具体的には、県民向けにDXの必要性やDXにより変わる未来の姿を紹介し、DXについて理解を深めてもらうフォーラムの開催や、新聞、SNSなど様々な広告媒体を使った情報発信、委員の皆様にご協力をいただき、知事と県民との対話集会などを予定。

※現在、県議会においてR6当初予算を審議中